

# TAKASU

みんな笑顔であつたかす  
広報たかす

2015年 9月号

9

No.768

[特集] 戦後70年 平和への願い



戦没者追悼の集い(8月8日、鷹栖町戦没者慰霊の塔)

# 戦後70年 平和への願い

先の太平洋戦争や日中戦争などにおいて、尊い生命を犠牲にされた英霊を追悼する「戦没者追悼の集い」が、今年も8月8日に町戦没者慰霊の塔にて行われ、戦没者遺族や町民など約150人が参列し、平和への願いを込めて献花を行いました。

追悼の集いでは、参列者全員による黙とうが捧げられた後、谷町長が「多くの尊い犠牲によって今日の平和が築き上げられたことを忘れてはいけません。恒久の平和のため、悲しくも痛ましい体験の歴史を、次世代を担う子どもたちへ語り継ぐことが私たちに課せられた使命です」と追悼のことばを述べました。

鉄製大屋根の下に配置された球状の霊位碑の周囲には、平和への願いを込めて奉納された千羽鶴がカラフルに彩りました。それはまるで、激動の戦争の時代に、故郷や家族の無事を案じながら遠く異郷の地で散った、先人の無念さを包み込むかのようでした。



# 悲惨な戦争の現実を語り継ぐ

平成27年は、太平洋戦争の終戦を迎えてから70年目の節目の年です。平和な日々が続く一方で、戦争の悲惨さを知る世代が少なくなっていることが懸念される中、鷹栖町においても戦後生まれが人口の約8割を占めるまでになっています。

戦争は遠い昔の絵空事ではなく、70年前を今の私たちと同じように生活していた人たちが、実際に体験した悲惨な「現実」。今を生きる私たちが、将来を生きる子どもや孫、その先の世代へと平和な日本を引き継ぐために、悲惨な戦争の現実を風化させず、見つめ直し語り継ぐことが求められています。

今月号では、実際に戦争を経験した町民の方に、当時の様子や平和への思いについてお話を伺いました。

町遺族会会長

朝倉 忠 さん  
 (9線7号)

終戦時は小学3年生。  
 父 榮作さんが、昭和19年に出征。中国にて34歳で戦死される。



## 帰ってきた父は 爪と髪の毛だけ

戦時中は鷹栖国民学校(現在の鷹栖小学校)に通っていましたが、「子どもも戦争に勝つために奉公する」という時代でしたから、低学年ながら色々奉仕作業がありました。

高学年が春光台で暗渠用の土管を作り、低学年はそれを一人一本持って、真夏の暑い中を春光台から10号道路をずっと小学校まで運び、校庭に並べて干しました。  
 また、イタドリを葉を家

で乾燥させて学校へ持つてくるように言われたこともあります。物資不足だったから、たばこの原料にしたんだと思います。

私の家族は父の出征後、女性と子どもだけの7人家族でしたから、母親は本当に大変でした。よく面倒をみてくれたと思います。

着る物がない時代でしたので、母は子どもたちが寝た夜中に、古い着物をほどこいて子どもの服を縫ってくれていました。家族みんなで色んな苦労をしました。

父親の戦死の報告がされ、届いた白木の箱には、父親の遺骨の1本もなく、出征時に置いていった爪と髪の毛だけが入っていました。それを見た時には小学生ながら、戦争とはこんなものなのかと、本当にむなしくなりました。

二度とあんな悲惨な戦争の時代に戻らないように、若い人たちには戦争や平和に関心を持って、しっかりしてもらいたいと願っています。

唐太 陸一 さん  
 (北野西3条1丁目)

昭和15年生まれ。  
 海軍の軍人だったお父さんが、昭和17年に北太平洋で戦死される。



## 戦争がない時代を これからも

父が海軍だったので、戦時中は横須賀にいました。父は昭和17年10月に、北太平洋で駆逐艦に乗っていて戦死したと聞いています。それ以上の詳しいことは不明とのことでした。軍艦を守る役目だったそうで、攻撃されたらどうにも出来なかつたんだと思います。

父の戦死後に、父の実家があった道内へ。父親がいないので、母も子どもの私たちも、みんな本当に苦労して生活してきました。

戦後70年間、今も平和な世の中ではないなと思います。自分たちが苦労した経験があるからこそ、これからも戦争のない時代が続いてほしいと願っています。

## 目次 CONTENTS



- 2 特集  
戦後70年 平和への願い  
輝くたかすつ子の活躍  
スポーツの全道大会で優勝！
- 6 鷹栖小学校スクールバンド  
9年連続の金賞を受賞  
熱夏フェスタ2015
- 7 ふくしまキッズ鷹栖町へ
- 8 ローソンさんのコラム  
町長コラム
- 9 今月の話題
- 10 子育て応援コラム
- 11 燃やせないごみの減量と  
ごみ袋の有料化について
- 12 今月のお知らせ  
すくすくアイドル  
人の動き  
それいけ！あつたかすくん  
いきいきわいわいカレンダー
- 14 注目の人  
紺野 弘克さん
- 20 [3]



上西 直行 さん  
(13線15号)

昭和15年生まれ。  
父 清正さんが3度目の  
召集で沖縄へ行き、昭和19  
年に32歳で戦死される。

### 4歳だった私は 父にしがみつき…

父は出征して帰ってきては、また召集されての繰り返しでした。

3度目の出征の時に送ったことを覚えています。集落の人が、皆で日の丸を持つての見送り。当時4歳だった私は「ついて行く」と父にしがみつき、周囲の大人に引き離されました。その時に、履いていた下駄の鼻緒が切れたんです。それが父との最後でした。  
戦死の知らせが届いたの

は昭和22年。役場の人がスキーに乗って家に戦死公報を持ってきました。受け取った母親はずっと泣いていました。

当時、遺骨も何もなかったですし、戦死したと言われていた人が戦後しばらくして戻ってくることもあったので、「ひよっとしたら帰ってくるのでは」という期待も、ずっとどこかに持っていました。

あんな悲惨な戦争は二度と起きてほしくありません。今、孫が21歳と18歳。もし戦争が始まればすぐに兵隊にとられる年齢です。あの子たちをそんな目に決して遭わせたくはありません。



▲慰霊塔にある戦没者芳名碑。日清戦争以後、鷹栖から戦地に赴き亡くなった242人の氏名が記されています



新郷土たかす編集委員長  
藤原 昭男 さん  
(22線15号)

終戦時は14歳で北成国民学校高等科の2年生。

### 兵隊に行つて命を 捧げろという教育

新郷土たかすの次号第54号では「終戦、そして70年の今」と題した特集を予定しています。戦後70年の節目を迎え、戦争の悲惨さを知らない年代が多くなっている中、戦争の反省、平和な社会への思いなど、そういったものについて少し、みんなの考えを聞きたいという思いからです。

終戦の年、学校では一年間学業を停止するという達しがあり、高等科以上の生

徒は勤労奉仕。援農や北斗地区で渡管工事の手伝いをしたことを覚えています。

その頃、大学生は学徒出陣。学校では小学生から「少年兵を志願しろ」と教えられていたこともあり、私も少年飛行兵を志願して、20年6月に1次試験に合格。2次試験の目前で終戦を迎えました。

当時は「日本の男として生まれた者は、とにかく兵隊に行つて国のために命を捧げるのが本分」という教育を受けていて、皆それが当たり前だと思ひ込まれていました。

北成では誰かが出征する時には、小学校で壮行会をして16号道路を17線の坂の上まで見送つて、そこでお別れ。出征兵士ののぼりを先頭に、その後ろを小学生の音楽隊が太鼓とラッパで行進しました。

もちろん家族にしてみれば兵隊にやりたくない悲しいこと。ただし、隣の人にすら、そういう思いは決

して表に出せない時代。私の父も、兄を兵隊にとられてどれほど悔しかったかと思ひますが、顔に出すことはありませんでした。

当時、丸山句碑の森の神社脇にある湧き水で別れの盃を交わすと、生きて帰つてこれるといふ言い伝えがあつて、兵隊にとられることが決まった家では、夜中に母親がこっそりその水を汲みに来る、ということがあつたようです。

敗戦を知つた後は無力感。信じ込まされてきたことが全部嘘だった訳ですから。学校では、軍に関するような教科書の内容は全て黒く塗りつぶしました。国語の教科書なんかは全体の2割も使えなかつたと記憶しています。

とにかく戦争になるようなことは決してあつてはいけません。どれほど悲惨なものか、子どものうちから教えていくことが必要です。

# 戦地の悲惨さ

## （軍隊での経験から）

太平洋戦争で軍隊経験を  
持つ、町内在住の90代男性  
の方に、ご自身の経験を話  
していただきました。

男性はこれまで、戦争経  
験についてあまり語ってこ  
なかったと言います。おそ  
らく、思い返すのが辛いこ  
ともあったでしょうが、「体  
験者が段々と少なくなつて  
いく中、戦争がどれほど悲  
惨なものかを伝えておきた  
い」と、今回の取材に協力  
くださいました。

### 満20歳で兵隊検査

当時は満20歳で兵隊検査  
が義務付けられていて、検  
査に合格し、昭和19年に21  
歳で入隊。戦争に行つて国  
のために死ぬのは本望だと  
思い込まされていたので、  
歓呼の声に見送られ名譽の  
出征と思っていました。すつ  
かり洗脳されていた訳です。  
旧満州で軽機関銃班に配  
属となり、零下30度で這い  
ずりまわるなど厳しい演習

## 海での悲惨な光景

の日々でした。中国での実  
戦経験がある隊長で、「頭  
が高いと弾に当たると」と  
ズボンが擦り切れるほどの  
ほふく前進や、中には頭を  
踏みつけられたり蹴られた  
りしている者もいました。

### 南方へ 死を覚悟

昭和20年1月に、転属の  
命令が下り、南方へ。向か  
う船で、指揮官が突然「後  
ろを見ろ、あれが故国日本  
だ。見納めだからよく見て  
おけ」と。玉砕の南方へ行  
くのですから、生きて帰れ  
ないというのを、その時に  
骨身に染みて感じました。  
全員で君が代を歌い、古年  
兵から下士官まで皆が涙。  
死を覚悟した、その時の悲  
壮な気持ちは忘れません。



▲昭和20年旧満州で撮影

穴を掘ったりという作業を  
していました。

そんな中、米軍の空襲を  
目撃しました。飛行機が  
通った後には、まるで蒸気  
機関車が走っているかのよ  
うに次々と黒いきのこ雲が  
あがり、その後、真っ赤な  
火柱となります。

後日、現場を見に行くと、  
家はすべて吹き飛ばされ、  
残っているのはがれきとコ  
ンクリートの電柱、頑丈な  
建物の柱だけ。爆弾の威力  
の恐ろしさを目の当たりに  
しました。

戦争をすると軍隊もひど  
いが、戦地になった住民が  
もっとひどい目に遭うのが  
事実。空襲があると、現地  
の人は子どもを抱えてわー  
わー泣きわめきながら、家  
も畑も何もない山の中へ逃  
げていくしかない。哀れな  
ものでした。あの子どもが  
その後どうなったのか？そ  
の人の行く末を考えると、そ  
の悲惨さは戦争の現実です。

### 泣きわめき逃げる 戦地の住民

私たちが上陸したのは台  
湾でした。山に壕やトンネ  
ルを掘ったり、原っぱには  
たこつぽという1対50センチ  
くらいの、しゃがんで隠れる

え、しばらくは在留邦人を  
保護する憲兵機動隊として  
現地に残りました。あと20  
日ほどで日本へ帰れるとい  
う時に、仲間がマラリアに  
感染。

発熱で、布団をかぶせて  
抑えてもがたがた震えが止  
まらずに、衛生兵の判断で  
治療のため三日ほど絶食さ  
せましたが、「死んでもい  
いから何か食べさせてく  
れ」と懇願した翌朝に亡く  
なっていました。こんなこ  
となら腹いっぱい食べさせ  
てやりたかったと、残酷な  
死に方に男泣きに泣きまし  
た。

私は運良く、昭和21年4  
月に復員しましたが、小学  
校の同級生は男子33人のう  
ち6人が戦死しています。  
およそ5人に1人が戦地で  
亡くなったんです。

私の見た本当に悲惨な光  
景を、戦争をするとこんな  
辛い目に遭うんだというこ  
とを、みんなに知ってもら  
いたくて話しました。戦争  
は絶対しない世の中にして  
ほしいと願います。

### 同級生は6人戦死

そのまま台湾で終戦を迎

輝く！たかすっ子の活躍

# スポーツの全道大会で続々優勝！

第33回北海道小学生陸上競技大会（千歳市）  
小学4年男子 ソフトボール投げ 優勝



本番でそれまでの自己ベストを5mも伸ばして54m73の好記録で優勝。2位の記録が47m台だったことから、千葉くんの強さが際立ちます。

夏は鷹栖野球少年団、冬はクロスカントリースキー少年団で活躍する千葉くん。参加資格が4年生以上のこの大会への出場を昨年から心待ちにし、「目標は優勝」と、大会に向けてお父さんとのキャッチボールで練習を重ねました。

「（大会の日は）調子が良かったので最初から思いっきり投げようと思えました。投げた瞬間に『これは遠くへ行った』と感じました」と、6投ある試技のうち1投目で優勝記録を叩き出しました。

また、同じ大会の小学6年女子800mには、**栃谷天寧さん**（鷹栖小）が出場し、2分28秒53の記録で見事2位に入賞しています。

第12回全道小学生学年別柔道大会（江別市）  
小学5年女子 40kg超級 優勝



「練習が楽しいので道場に通うのが楽しみ」と話す渡邊さん。得意技は大内刈りですが、「格好が良いから、背負い投げで倒すことが目標」と、週3回、旭川市内の道場で稽古に励んでいます。

全道から18人の精鋭が参加した大会では、1回戦から決勝までオール1本勝ち。決勝では帯広の道場に所属する選手と対戦し「勝てると思っていたけど、先にポイントを取られると思っていなかった」と、相手から先行される展開に少し慌てましたが、目標の技としていた背負い投げで相手を崩し、そのまま抑え込んで逆転の1本勝ち。見事、山梨県甲府市で開催される第12回全国小学生学年別柔道大会の切符を手に入れました。

8月30日に行われた全国大会では、全国各地から集まった強豪相手に大健闘。見事、第3位に輝きました。

B&G北海道フロック大会（大樹町）  
カヌー競技 中学生女子の部 優勝



中学校ではクロスカントリースキー部に所属して、全国大会にも出場している照井さん。小学生の時に「B&G鷹栖海洋クラブ」に入ったことをきっかけに、カヌー競技も現在まで続けています。

全道の海洋クラブ員が集まるこの大会には、小学5年生の時に初出場初優勝して以降、今年で4連覇を達成。「カヌーは上手く漕げた時に水面をひゅーつと進む感覚が好き。表彰台は何度上がったっても嬉しいです」と話します。

男子の優勝者にタイムで及ばなかったことが「悔しい」と話す負けず嫌いの。現在はレベルの高い練習環境を求め、毎週末滝川市に通っています。全国の選手が集う合宿への参加も決定し「レベルの高い選手を間近で見ることが楽しみ。カヌーもクロカンも体幹が大切なので互いの競技に生かしたい」と更なる活躍に期待です。

# 鷹栖小学校スクールバンドは「北海道小学校バンドフェス」へ 旭川地区予選で9年連続の金賞を受賞

8月2日（日）に旭川市で行われた「第60回北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選兼第34回北海道小学校バンドフェスティバル旭川地区予選」小学校の部に出場し、見事9年連続となる金賞を受賞しました。

地区予選では、自由曲「旅立ちの歌」を部員29人の熱い思いを込めて演奏すると、会場からは盛大な拍手と「ブラボー！」の声。そのハーモニーが評価され、9月26日に苫小牧市で行われる「第34回北海道小学校バンドフェスティバル」の出場校に選ばれました。

部長の児島礼奈さん（6年）は「（7月中旬から毎日）頑張ってきた練習の成果を発揮し、みんなが一つになった納得のいく良い演奏が出来ました。連続受賞が途切れないようにという緊張があったので、金賞と聞いて安心と喜びの気持ちでした。全道ではペットボトルを使った演奏も披露する予定です。見る人を楽しませて、納得のいく演奏で（全国大会の）大阪城ホールを目指したいです」と、受賞の喜びと全道への意気込みを話してくれました。



8月8日の「たかす吹奏楽フェスティバル」で「旅立ちの歌」を披露。9年連続の金賞受賞が報告されると会場からは惜しみない拍手が。

## 「たかす熱夏フェスタ」盛大に

町内夏の一大イベント「たかす熱夏フェスタ2015」が8月8日（土）9日（日）に開催され、町特産のグルメなどが楽しめる露店やステージイベントを目当てに訪れた大勢の来

場者でにぎわいました。両日とも晴天に恵まれ、今年初めての開催となったプロライダーによるバイクのパフォーマンスショー「Hondaトライアル」や恒例の「商工会もちまき」

には、多くの人だけが出来ました。また、子どもらによる三輪車レースやジュニアの早飲みを競うイベントでは、懸命な姿に大きな歓声が上がっていました。

フィナーレを飾るダンス&ディスコナイト



Hondaトライアル



子どもみこし「鷹子」



恒例のダンス&ディスコナイトに、今年も町内のヒップホップダンスグループ「IZATAKA」が出演。

ステージ上でメンバーと一緒に軽やかな動きを披露した原田芽依さん（写真右端：北野小2年）は「いっぱいのお客さんの前でも緊張しないで踊れました。最後まで失敗しないで頑張れたのでとても楽しかったです」と、練習の成果を発揮できたことに満面の笑顔でした。

# ふくしまキッズが鷹栖町へ

## ～5年目を迎えたチームあつたかすの活動～



不安が消えないのです」

代表の松下さんは「子どもたちが成長する姿や楽しそうに遊ぶ姿を見ることができて嬉しいですね。『毎年ここに来ることが楽しみで、他の予定を調整している』という声を聞くと、福島の子どもたちにとって大きな存在になっているのかな、とも感じます」と無事に子どもたちの受け入れが終了したことに安堵の表情。

最終日前夜に行われたパーティーでは、子どもたちから「ここで起きたこと全てが思い出。将来鷹栖町に住みたいと思いました」などと感想が述べられ、スタッフたちは目を細めてその姿を見守っていました。

今年訪れたのは、小学1年生から高校1年生までの31人。川や公園での自然体験、野外炊事やホームステイなど、外遊びを中心に様々な活動を行いました。



**食事シスターズ**  
**青山 早智子さん**  
(北1条3丁目)

写真中央が青山さん。ご自身のお孫さんやホームステイで受け入れた子どもたちと。

活動に参加して5年目です。ホームステイで受け入れた子が「このまま居候したい」と嬉しいことを言ってくれたり、子どもたちからたくさんの元気ももらっています。

また、これまで知らなかった方と普段でも関わりを持つようになるなど、スタッフ同士の「地域の絆」も強まっていると感じています。今では同じプールサークルの人に声をかけて、仲間を増やしているんですよ。



**2年前は参加者**  
**今回はスタッフとして**  
**同行した高校1年生**

**浅井 将哉さん**  
(福島県いわき市)

中学2年生で参加した時が本当に楽しかったので、それ以来、また鷹栖町に來たいとずっと思っていました。その思いが今回実現し、2年ぶりに皆さんと再会出来て、当時と変わらずすぐに友だちのように話せたことは、とても嬉しかったです。

今回もまた、たくさんの人と楽しい思い出をつくるのが出来、鷹栖町は僕の第2のふるさとだと感じています。



# 鷹栖町に来たカンガルー日記

皆さんこんにちは！鷹栖カンガルーことローソンです。いかがお過ごしですか？

8月は町内の学校が夏休みのため、授業もお休み中ですが、ビストロキッズ（小学生対象の料理教室）のお手伝いで、夏野菜カレー作りやスパゲティポロネーゼ作りに参加したり、今年は獅子舞にも参加させてもらったりと忙しくしています。（獅子舞の胴体に入り）前が見えない状態で走り回るってすごく怖かったです。

先日行われた熱夏フェスタでは、ゴールドコースト市をPRするためのテントを出しました。ベジマイトの試食、アボリジニーについて紹介したパネル展示、オーストラリアクイズコーナーの他に、30分に一度ビーチフラッグ大会を開催しました。

通常は砂浜の上で行う競技ですが、鷹栖バージョンということで芝の上で行いました。各レースの優勝者には、ゴールドコースト市から提供された市名入りの格好良い帽子が贈られました。テントに足を運んでくださった皆さん、ありがとうございました。

熱夏フェスタ最後のお楽しみの花火も友人と見たのですが、あそこまで迫力ある花火は今まで見たことがありません。一生忘れないと思います。

今月は、お祭りや夏のイベント事を楽しんだ後、ぐったりした時に使えるオーストラリア英語を紹介します。“I'm buggered!!”（＝疲れた！！）です。

“I'm tired.”（＝疲れた。）も同じ意味ですが、“I'm buggered!!”を使ってもらえると、よりオーストラリアっぽくて嬉しいです。

僕は夏休みの後半で、道内のまだ行ったことのない地域に行ってみようと思っています。

小学生、中学生の皆さん！2学期もまた楽しく英語しましょうね！！



## 満天の星空

ペルセウス座流星群が一番の見頃となる8月13日にパレットヒルズで「星空観測会」を開催した。講師は、私が教育委員会職員時代にお世話になったご縁もあり、元北野小学校に勤務していた加藤雅彦さん（旭川市科学館サイエンスボランティア）に快く引き受けていただき、約50人の家族連れが参加し、用意されたブルーシートの上に寝転び、夏の星空を楽しんだ。

お盆前後の天候は、大気が不安定で大雨警報が毎日発表されていたが、13日の午後7時頃からは奇跡的に晴れ、最初に天体望遠鏡で「土星と土星の月」を見せていただき、空が漆黒へと変化するにつれ、煌めく星たちが空を覆い尽くしていった。東の方角に最初に現れたのは、こと座の一等星「ベガ」おり姫星。次にわし座の「アルタイル」彦星が光り、条件が揃えば肉眼でも二つの星の間に、天の川が流れるという。そして「夏の大三角形」の最後に、はくちょう座の尾に輝く「デネブ」が出現。見上げた天空には、流れ星も自由に泳ぎ始め、すべての人が心を躍らせ、息を呑みこんだ。

8時23分には、北斗七星の斜め上に突然、油井さんが乗船する国際宇宙ステーションがマイナス二等星（一等星より更に明るい）の輝きを放ち、1分くらいだったろうか、北から東にゆっくり動き始めると歓声が聞こえた。

ただただ、空だけを見上げた2時間の時空旅行は、町民の杜・パレットヒルズに贅沢な空間と時間があることを教えてくれた。

あつたかす発

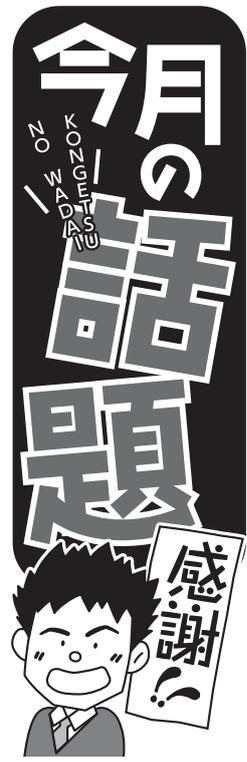
# 北の大地から

鷹栖町長 谷寿男



鷹栖町フェイスブックにも「トピックス」を掲載しています。

鷹栖町 あったかすフェイスブック



### 8.6 小学生7人が長崎県松浦市を訪問

町名に「鷹」がつくことが縁で始まった、長崎県松浦市（旧鷹島町）との交流事業で、町内の小学5・6年生7人からなる訪問団が、8月6日から6日間の日程で松浦市を訪れました。松浦市は長崎県の北部に位置し、海に面した地域。交流事業は、子どもたちに



鷹栖町とは気候や風土が異なる地域で、貴重な体験をしてほしいと、平成8年から続いています。松浦市では地元の小学生と自然の中で目いっぱい遊んだり、ホームステイなどを経験した団員たち。湯田桃花さん（鷹栖小6年）は「鷹島の海はとてきれいで、松浦市の子と一緒に泳いだり遊んだりしたことが一番の思い出。ホームステイでは、近所の子も一緒に泊まってとても楽しかったです。冬に鷹栖町で再会して雪遊びをするのが楽しみ」と、1月に訪れる予定の松浦市の訪問団を心待ちにしている様子でした。

### 7.26 真夏の暗闇にホタル50匹の優しい光

北成地区公民館で、地域に生息する天然のヘイケボタルを観察する催しが行われ、親子連れら20人が幻想的な輝きに癒されました。



### 7.27 300人がさわやかな汗 ラジオ体操で健康に

NHKテレビ・ラジオ体操講師を招いて「夏の全町ラジオ体操会」が開催され、夏休みの始まりに効果的な体操動作を学びました。



### 7.28 町内企業の山元組が北野小学校舎を清掃

北野地区で進む国営緊急農地再編整備事業の3つの現場から社員が参加し、社会貢献活動として、校舎外壁の清掃活動を行いました。



### 8.4 伝統の獅子舞 勇壮な姿で観客を魅了

町指定文化財「北野神社獅子舞」演舞が披露され、地域の農業者や地元小学生らによる勇壮な舞に、惜しめない拍手が送られました。



### 8.8 鷹栖らしい音楽のしらべ 吹奏楽フェス初開催

「たかす吹奏楽フェスティバル」がメロデーホールで開催され、町内の吹奏楽関係者が一堂に会し演奏を披露しました。



### 8.10 あったかす北野サロン 連携して運営を

9月5日開店の「ダ・マルシェ」店舗内に開設するサロンについて、あさひかわ農業協同組合、道北アイクス、町の3者で協定書への調印を行いました。



24時間の熱戦  
フル出場選手も奮闘

「第33回24時間マラソンソフトボール大会」が開催され、約300人の選手が2チームに分かれて対戦し、多くの珍プレー好プレーで会場を沸かせました。



公民館

5地区で夏の盆踊り  
帰省者などで盛況に

夏の風物詩の盆踊りが各地区公民館主催で行われ、5地区それぞれ趣向を凝らした内容で大いに盛り上がりました。



《鷹栖地区》  
初の「ダンシングヒーロー」



《北野地区》  
大勢の子どもでにぎわう



《中央地区》  
仮装盆踊り大盛況



《北斗地区》  
子どもミニ縁日に歓声



《北成地区》  
旧北成小で懐かしの写真などを展示

子育て応援！「ラム」第4回

「背中ぐにゃ」の改善策  
子どもが自らつかむ良い姿勢

NPO法人JACOT副理事長 菅野 美津枝



「うちの子、言う事だけ一人前なのに、身体がぐにゃぐにゃしてじつとしていないし...これからがとて不安です」と、お母さんに相談され、答えに困っていた若い先生のクラスでコオーディネーショントレーニング（以下COT）の授業をしました。

した。

程度の差はあれ、姿勢の悪さはゲーム世代の共通した悩みです。時にだらしない性格に見えて、心配のあまり叱ってしまう事ってありますよね。

東京都はCOT導入から3年経ち、取り入れた先生から「体力や運動能力の向上だけでなく、集中力、意欲、コミュニケーション能力が劇的に変化して驚いています」と嬉しい報告を頂きます。

時には、厳しくしつけることも必要かもしれませんが、それでも出来るのでその上楽しければ、子どもは自ら身に付けたいと願うのではないのでしょうか。

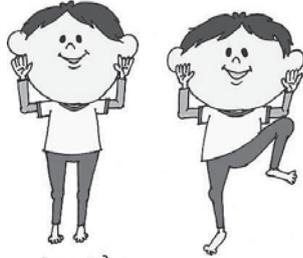
でも、これからはCOTで体幹の筋肉と神経に刺激を与えて、少し待ってみましょう！次第に自然と姿勢が変わっていきます。

COTは脳科学や発育発達の見聞に基づいて考案されており、単純な動きでも、一つ一つに意味があります。「くの字」や「ラディアン」には「首を立て正面を向く」という大切なポイントがあります。

子どもこそ「親の笑顔」を見たくて頑張りたいたいのです。

実際にその子も、週1回5週間のCOTで先生がビックリするほど姿勢が変わり、普段の生活でもテキパキ行動するようになりま

やってみよう！



コーディネーション

【ラディアン（同側）】

両腕を上げ数回軽く跳ねた後、2拍子のリズムに合わせて、跳ねながら肘と膝を同側でつける動作を繰り返します。出来るだけ肘の高さをキープし、顔は前方を向いているようにしましょう。

体幹の平衡能力や、体幹と四肢との連動を高めることが目的です。

【考案】 荒木秀夫 徳島大学大学院教授 (JACOT 副理事長)

A4. 紙で拭き取ったり水ですすぐなどとして、臭いがせず、ベタベタしない程度まで汚れを落とすしてください。



いつまで埋め立てられますか

## 埋め立てるのか？リサイクルされるのか？ あなたの分別にかかっています

町内で埋め立てられているごみは、年間約402t。燃やせないごみ専用袋（1袋あたり約3kg）に換算すると、13万4千袋分の量になります。ちなみに、処理にかかる費用は1袋あたり約240円です。

現在、町が使用している最終処分場（埋立地）は、平成36年3月まで使用する計画で建設されましたが、このままのペースで進むと、計画より早く満杯になってしまう状況です。

また、燃やせないごみ専用袋は本来、焼却処理やリサイクルが不可能なごみを入れるための袋ですが、一部の方々に「どんなごみでも入れて良い袋」と誤解され、適正な分別がされずに埋め立てられてしまっています。実際に、本来はリサイクルできるはずの資源ごみが混入した大量の「燃やせないごみ専用袋」が、埋立地を逼迫している現状です。

こうしたことから、3R（再使用、再資源化、排出抑制）の推進と、ごみの抑制による埋立地の延命のため、燃やせないごみの処理手数料を負担いただく形として、燃やせないごみ専用袋を有料化し、10月1日排出分から適用します。

**10月1日以降は有料化した「燃やせないごみ専用袋(黄)」を利用ください**

## 新しいごみ袋は 9月14日から販売

有料化となった新しいごみ袋は、現在ごみ袋を取り扱っているお店で、9月14日以降に購入いただけます。

有料化前のごみ袋を使用する際に必要な「手数料シール」も同様です。



手数料シールは、氏名欄の上部に貼付してください。

また、使い切れなかった燃やせないごみ専用袋は、10月から役場窓口で他の色のごみ袋と交換することもできます（ただし10枚1組単位に限る。燃やせるごみ専用袋（小）とは交換不可）。

1組に満たない場合は、手数料シールを購入してご利用ください。

## 埋立地を長く 利用するために

現在の埋立地を長く利用するためには、何といつてもごみを減らすこと。そのためには、町内の事業者や住民の皆さんで一体となり、ルールを理解して分別を徹底していただくことが大切です。

分別の徹底は、埋立地の延命に直結します。環境負荷の大きい燃やせないごみを最限に抑え、リサイクルを推進することが、一番の目標であり課題です。

燃やせないごみの排出目標は「1世帯1月につき1袋」。この目標実現に向けて、皆さんのご協力をお願いします。

## 汚れを落とす ひと手間を

分別は、ごみをきちんと洗って出していただくことも大切です。

資源ごみや燃やせないごみは、水ですすいだり、ちり紙で拭いたりして汚れを落とし、てから出してください。特に、臭いや液ダレがするものは、必ず水ですすいできれいにしてください。

こうすることで、埋立ごみの減量につながることはもちろん、ごみ収集や分別作業を効率良く行うことができます。

## 9月から新しい 分別が始まりました

「ベルト・かばん・靴」が、布の資源ごみとしてリサイクル可能となりました。資源ごみの日にごみステーションへ出すか、役場、はびねす、鷹栖・北野地区住民センターにある回収ボックスへ入れてください。ベルトは「布」と書いた段ボールに入れてから、かばんと靴は他の資源ごみに汚れが移らないように透明な袋に入れてから、段ボール又は回収ボックスに入れてください。



## 有料化に関する疑問を解決！ごみQ&A特別編

Q：10月1日以降に、有料化前のごみ専用袋で出されたごみはどうするのですか？

A：基本的に回収せず、長期間放置されるようであれば袋を開封し、排出者に直接指導します。

Q：有料化後のごみ袋の値段は？

A：10Lは5枚1組で120円。25Lは5枚1組で300円。手数料シールは1枚50円です。

Q：ボランティアで使う場合も、燃やせないごみ専用袋は有料ですか？

A：クリーン作戦などのボランティアで使用する場合は、有料化されたごみ袋ではなく、専用のボランティア袋を用意します。

Q：分別に迷った時はどうすれば良いですか？

A：町民カレンダーの裏表紙やごみの分別ガイド、町ホームページ（身近な生活情報→ごみの出し方）を参照ください。また、役場（環境衛生係）やごみ処理場にお問合せください。

Q：燃やせないごみを出さないコツを教えてください。

A：ごみになりそうな物を買わない、まだ使えそうな物は使うといったことから気を付けてください。

Q：燃やせないごみを出す時に気を付けることはありますか？

A：丸めたり、折ったり、潰したり、砕いたりしてごみ袋の中に空洞を作らないように詰め込みましょう。

A5. 汚れや水分は時間が経つと、臭いやさらなる汚れの原因となります。また、他の容器を汚してしまうと、汚された容器もリサイクルできなくなってしまうので、

## 「ツール・ド・北海道 2015」9月13日は鷹栖町役場前をスタート！！

国際自転車競技連合（UCI）公認の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が、9月11日から3日間、鷹栖町を含む道内23市町管内をコースに開催されます。

1日目の11日には旭川市をスタートし鷹栖町内を和寒方面へ通過、3日目の13日には国内外20チーム100人の選手が鷹栖町役場前をスタートします。スタート前には「たかす吹奏楽団」がファンファーレや激励の演奏を披露。谷町長がスターターを務めます。

一流選手の迫力あるレースをぜひ間近で観戦し、ご声援ください！



**鷹栖町通過予定と  
交通規制について**

### ▼9月11日（金）

旭川市春光台公園をスタートし4号道路を下って町内へ。鷹栖橋を通り、道道99号（和寒鷹栖線）を和寒方面へ通過します。

### ・通過予定時刻

午前10時03分～35分頃

### ▼9月13日（日）

鷹栖町役場前がスタート地点。10線道路を7号まで進んで右折し、その後道道72号（旭川幌加内線）へ入って江丹別方面へ向かいます。

### ・スタート時刻

午前9時30分

鷹栖町役場前をスタート ※スタート前にたかす吹奏楽団による演奏

### ▼交通規制にご協力を

選手の通過に伴い、通過の前後の時間帯に通行止めや通行制限が行われます。ご理解のうえ、現場の警察官の指示に従ってください。

### ▼問合せ

総務企画課企画広報係

## 平成27年10月1日を基準日に国勢調査が実施されます！

平成27年国勢調査は、本格的な人口減少社会を迎えている中、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。調査の結果は、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策、地域の活性化など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる基礎データとなります。

### 📌 全国で一斉に行われます

平成27年10月1日現在、日本国内に普段住んでいる全ての人および世帯を対象とします。外国人も対象となります。調査は国（総務省）→都道府県→市区町村→指導員→調査員→世帯の流れで行います。

### 📌 調査員がお伺いします

9月上旬ごろから、国勢調査員が各世帯を訪問して調査票を配布します。

9月10日～ インターネット回答の利用案内配布

9月下旬～ 調査票用紙による回答利用案内の配布

### 💻 インターネットで回答できます

調査世帯がより便利に回答できるように、オンラインによる回答方式が導入されました。

紙の調査票の配布・回収に先立ち、インターネット回答の利用案内を配布します。

▼利用可能期間 9月10日～20日まで

### 📌 個人情報には厳格に保護されます

国勢調査では、統計法によって、厳格な個人情報保護が定められ、従事する者には守秘義務が課せられています。

【問合せ】総務企画課情報防災係

**不在がちの方は、ぜひオンライン調査でご回答ください。**

**まちづくり懇談会  
開催しませんか**

《問合せ》総務企画課企画広報係

町では、住民の皆さんとの「会話」を大切にしたいまちづくりを目指すため、町長との「まちづくり懇談会」を開催しています。

懇談会の開催を希望される場合は、地域や町内会、サークルなど、各種団体単位でお申込みください。

▼開催時期

10月中の開催を予定していますが、前後する場合でも可能な限り対応いたしますので、ご相談ください。

**条例改正案についての  
意見を募集します**

《問合せ》旭川市消防本部予防指導課

「旭川市火災予防条例」と「旭川市消防手数料条例」の改正案についての意見を募集します。資料は9月15日(火)から次の場所で配布します。

▼町内配布場所

旭川市消防署鷹栖支署  
各地区住民センター

▼意見提出期間

9月15日(火)～10月14日(水)

**生ごみ堆肥  
有料配布を行います**

《問合せ》町民課環境衛生係

皆さんに生ごみ分別のご協力をいただき製造している堆肥を有料で配布します。

▼価格

・1袋(13kg) 200円  
・バラ(10kg) 150円

※町が管理する施設および公共施設の環境美化に寄与する事業は無料。

▼配布場所・時間

ごみ処理場(17線18号)

平日:午前9時～午後4時30分

土曜日:午前9時～正午

▼9月18日(金)に鷹栖・北野

町内で販売します。今月号

折込チラシを参照ください。

**ご注意ください  
ヒグマ出没**

《産業振興課農林畜産係より》

山菜採りなどで山に入る機会が増える季節です。事故を未然に防ぐため、鈴を身に付けるなど遭遇しない工夫をしましょう。

また、単独行動は避け、万が一遭遇した時は、慌てずヒグマを刺激しないように立ち去りましょう。

**カメムシ防除支援事業  
補助金について**

《問合せ》町民課環境衛生係

利用を希望される方(団体)は、事前にご相談ください。個人家屋または行政区会館が対象となります。

《カメムシ防除支援事業補助金》

補助内容	補助対象経費	補助割合	1戸あたりの上限
専門業者に防除作業を委託するもの	作業委託費	3分の1以内	10,000円
薬剤を購入し、自ら防除作業を行うもの	薬剤購入費	10分の10以内	5,000円

**いのちの防支週間**

《健康福祉課保健推進係より》

9月10日(木)～16日(水)は自殺予防週間です。いのちを支える気づきの輪を広げましょう。

また、10月30日(金)には「健康づくり講演会」を開催します。(今月号折込チラシを参照ください)

**通行止めのお知らせ  
及び町営バスの迂回運行**

《問合せ》

通行止め:旭川開発建設部旭川農業

事務所 ☎32・4097

町営バス:町民課お客さま窓口係

北野地区区国営緊急農地再編整備事業に伴う水路工事のため、次のおり通行止めとなります。迂回路通行へのご理解とご協力をお願いいたします。

▼場所 町道14線道路

(8号～9号間)

▼期間 10月1日～15日

また、併せて町営バス「鷹栖循環線」が、同区間、同期間迂回運行いたします。

※停留所、時刻表に変更はありません。

**ご利用ください  
無料法律相談会**

《申込み》生活福祉相談センター

☎87・2112(はびねす内)

女性弁護士によるDV(配偶者からの暴力)・セクシュアルハラスメントなどの法律相談を行います。

▼日時 9月17日(木)

午後1時30分～4時30分

▼場所

上川教育研修センター(旭川市) 定員 6人(1人30分)  
※予約制です。



町営バス通常路線  
町営バス迂回路

## 国民年金保険料 10年の後納制度について

### 《町民課医療年金生活係より》

過去10年間に納め忘れた国民年金保険料を納付することで、将来の年金額を増やすことができる「10年の後納制度」は、平成27年9月30日をもって終了します。

終了後、平成27年10月1日から3年間に限り、過去5年間に納め忘れた国民年金保険料を納付することができる「5年の後納制度」が始まりますが、10年の後納制度よりも納付できる期間が短く、保険料の加算額が高くなります。なお、老齢基礎年金を受給している方などは後納制度を利用できません。

詳しくは「国民年金保険料専用ダイヤル ☎ 0570・011・050」またはお近くの年金事務所へ問合せください。

## 国民健康被保険者証の 更新について

### 《問合せ》町民課医療年金生活係

国民健康被保険者証の有効期限は平成27年9月30日（水）です。対象の方には、更新手続きについて郵送でご案内します。

9月中旬に役場および各地区住民センターでの更新手続きを予定しています。

## サンホールはびねす お風呂・プールの休業

### 《問合せ》健康福祉課地域福祉係

サンホールはびねすのお風呂、プールについて、ボイラーの更新工事を行うため、次のとおり臨時休業します。

日頃よりご利用いただいている皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

### ▼休業期間

9月23日（水）～27日（日）までの5日間

## 北海道庁からのお知らせ 商品券を配布します

### 《問合せ》町健康福祉課

経済的負担の軽減を目的に、一定の要件を満たした要介護の方・障がい者の方・妊産婦の方で、申請をされた方に、取扱店で使用できる商品券（5千円分）を配布します。

### ▼給付対象

要介護・障がい者の方  
平成27年4月1日時点で北海道または道内市町村が認定している次の項目に該当する方

- ①要介護認定3以上
  - ②障害支援（程度）区分4以上
  - ③特別障害者手当受給者
  - ④経過的福祉手当受給者
  - ⑤特別児童扶養手当受給者
- ・妊産婦の方

平成27年1月1日～12月31日までの期間に「母子健康手帳」を交付され、申請時に道内に居住している方

### ▼申請方法

要介護・障がい者・8月までの母子健康手帳交付者の方は申請書が送付されます。9月以降の母子健康手帳交付者は、交付時に申請書をお渡しします。

## 秋の全国交通安全運動 9月21日（月）～30日（水）

「子どもと高齢者の事故防止」を運動の基本に、次のことを重点事項として取り組みます。

- ・夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗車中の事故防止
- ・全座席のシートベルト、チャイルドシートの正しい着用の徹底。
- ・飲酒運転の根絶

### ▼鷹栖町内の活動

町交通安全協会・指導員会と町商工会が連携し、次の活動を行います。

- ・9月24日（木）午前7時30分～9線4号交差点周辺で街頭啓発運動
- ・9月30日（水）午後6時～パトライト作戦

▼問合せ 町民課医療年金生活係

## Hondaテストコース見学会

▼と き 10月4日（日）  
午前9時～午後3時30分

▼ところ  
（株）本田技術研究所鷹栖ブルーピンググラウンド特設会場（21線10号）

### ▼内容

- ・テストコース見学バスツアー
- ・バイクトライアルショー
- ・Honda 製品展示
- ・二人乗りカート（同乗体験）
- ・大道芸、子ども広場（ふわふわ）
- ・美味満載屋台 など

◎来場されて、アンケートに回答いただいた方の中から抽選で、特製Hondaグッズなどが当たります！

◎ご来場の際は、専用駐車場をご利用ください

▼問合せ 同社 ☎ 87-4322

## 田んぼダムに取り組んでいます



鷹栖町地域農業推進会議では、「田んぼダム」として、大雨の際に雨水を水田に一時的に貯留する活動に取り組んでいます。雨水を水田に貯留し、時間をかけて少しずつ排水路に流すことで、一度にたくさんの雨水が河川に流入することを避け、河川の氾濫を防いでいます。

▼問合せ 産業振興課農業振興係

**参加していただく  
わくわく読書月間**

《問合せ》教育課生涯学習係

「1日15分読書」を目標に毎日の達成状況等を『参加カード』に記録します。

期間終了後、参加カードを提出した方の中から抽選で、図書カードをプレゼントします。

▼期間 10月1日(木)～11月30日(月)

▼対象者

町民、町内に勤務、通学している方

▼参加カードの配布

9月15日(火)から各地区住民センター(鷹栖・北野は図書室)、町教育委員会に設置しますので自由にお持ちください。

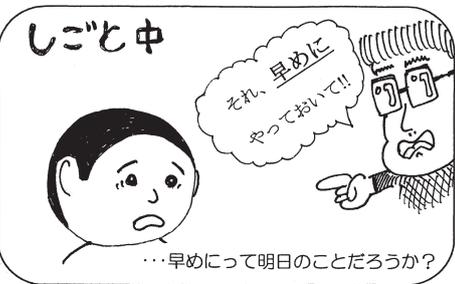
**ご利用ください  
警察相談の日**

《旭川中央警察署より》

9月11日(金)は警察相談の日です。生活の安全等に関する幅広い相談に応じます。警察相談専用ダイヤル「#9110」におかけください。

**はびねす  
通信**

**障がいにご理解を  
「就労相談会」**



あいまいな言葉は時に障がい者のペースを妨げてしまいます。「いつ・誰が・何を・どのように」を明確にすることも必要です。

**障がい者しごと相談窓口【就労相談会】**

10月14日(火)、11月13日(金)、12月15日(火)  
いずれの日程も13:00～16:00(要予約)  
協力：上川中南部障害者就業・生活支援センターきたのまち  
問合せ先 鷹栖町自立支援協議会事務局 (87-2112)

**水とあそぼう教室 参加者募集**

児童期から、水に親しみながら体力の向上を図ることを目的として開催します。

▼対象 町内在住の小学1～2年生

▼期間 9月中旬から全8回

▼コース ①毎週火曜日 午後4時～  
② 〃 木曜日 午後4時～  
③ 〃 土曜日 午前10時～

※1回の教室の時間は60分です。

▼定員 各コースそれぞれ25人(予定)

▼場所 サンホールはびねすプール

▼参加料 1,500円

▼申込み

9月7日(月)～14日(月) 先着順  
(定員になり次第、受付終了)

▼申込み・問合せ先  
教育課体育振興係

**卓球教室のご案内**

次のとおり卓球教室を開催します。興味をお持ちの方はお問い合わせのうえご参加ください。

▼日にち・時間

10月9日(金)、16日(金)、  
30日(金)、11月6日(金)  
午前9時30分～11時30分

▼場所 町総合体育館

▼参加料 無料

▼内容

ルール説明および基本講習

※ラケットをお持ちでない方は、連盟で用意いたします。

▼申込み・問合せ先

町卓球連盟事務局 水野  
☎87-2111(役場内)

**パークゴルフ大会参加者募集**

**第11回鷹栖町郵便局長杯**

▼とき 9月26日(土)

▼受付時間 午前7時15分～7時40分

▼開会式 午前7時45分(小雨決行)

▼会場 北野軽スポーツ公園パークゴルフ場

▼参加資格 町民・町PG協会員

▼参加料 協会員500円、一般町民700円  
※コース使用料100円(別途)

▼各賞 男女ともフライト制で1～5位(参加人数により変更有)、ホールインワン賞(指定ホールのみ)、飛び賞、BB賞、参加賞

▼申込み 教育課体育振興係 ☎87-2028

▼申込締切 9月17日(木)

▼主催 町パークゴルフ協会

**第6回鷹栖町観光協会長杯**

▼とき 9月19日(土)

▼受付 午前8時～

▼開会式 午前8時30分

▼会場 パレットヒルズパークゴルフ場

▼参加料 1,000円(コース使用料込み)

▼各賞 入賞 男女別 優勝、準優勝、3位～(参加人数による) ホールインワン賞、飛び賞、BB賞 参加賞

▼申込み 鷹栖町商工会 ☎87-2210  
パレットヒルズパークゴルフ場 ☎080-5580-0297

▼申込締切 9月12日(土)

▼主催 町観光協会

## 窓口から

こんにちは、よろしく

氏名 両親

8 区 小林 洋実ちゃん 秀尚さん・優香さん  
 北野西 片方翔太郎ちゃん 謙司さん・加奈子さん  
 シンフォニー 西山 純貴ちゃん 晴貴さん・裕子さん  
 シンフォニー 森谷 芽功ちゃん 準一郎さん・安美さん

### ご結婚おめでとうございます

新郎 新婦

旭川市 池田 涼さん ハーモニー 宮本有紗さん

### おくやみ申し上げます

氏名 年齢

天満 沓 村 雪子さん 83歳  
 鷹栖北 橋 本 はな江さん 104歳  
 共栄 寺 林 隆 則さん 83歳  
 知遠別 山 中 ミツ子さん 93歳

### あたたかい心ありがとうございました

○社会福祉協議会へ

☆香典返しご寄付

沓村 雅幸さん 山中 俊幸さん  
 橋本ミノ子さん 西野 稔さん  
 寺林 洋子さん

☆その他ご寄付

三輪 保夫さん

10月12日(体育の日)

### B&G 秋のチャレンジデーを開催!

毎年、5月最終水曜日に全国一斉に実施しているチャレンジデーに関連して、昨年に続き体育の日に独自イベントに取り組みます。

健康づくりに思いを馳せることを目的に、上川中央部の鷹栖町、愛別町、東神楽町の3町で「B&G秋のチャレンジデー」を開催!

ルールは5月同様、当日の午前0時～午後9時までの間に15分以上何らかの運動、健康づくりをした住民の参加率を競います。多くの皆さんで運動を楽しむ1日としましょう!

▼詳しい内容やイベント情報は、今月号に折り込みのチラシをご覧ください。

▼問合せ 教育課体育振興係



このコーナーでは、町内で満一歳の誕生日を迎える赤ちゃんを、毎月紹介しています。

ちっちゃいけれど元気一杯のきらです。きらの笑顔はパパとママのパワーの源!この1年もみんなの笑顔でいっぱいになるといいな♡



さとう きら  
佐藤 葵来ちゃん

平成26年9月4日生まれ  
男の子  
正顕・利佳子さんの子

角地家待望の長男! 柗真です。お姉ちゃん達にはオモチャにされてるけど、いっぱい食べて強くなるぞ! 見かけたら声かけてね♡



かくち しゅうま  
角地 柗真ちゃん

平成26年9月8日生まれ  
男の子  
誠・美幸さんの子

はじめまして! 樹です! 食べる事が大好きなぼく。いちごが大好きです♡毎日たくさん泣いて笑って食べてとにかく元気いっぱいです。



たけやす いつき  
武安 樹ちゃん

平成26年9月16日生まれ  
男の子  
章仁・由希さんの子

こんにちは♡汐です。お兄ちゃんお姉ちゃん達と早く遊びたくて9カ月から歩いちゃってる私♡最初の言葉は「マンマ!」よろしくネ



いしだ しほ  
石田 汐ちゃん

平成26年9月19日生まれ  
女の子  
善嗣・奈々絵さんの子

はじめまして! 莉子です! 少し気が強いところがありますが、大好きなお兄ちゃんに遊んでもらって毎日元気に過ごしています!



ながはら りこ  
長原 莉子ちゃん

平成26年9月19日生まれ  
女の子  
昌司・妙子さんの子

ふうちゃんです。よく寝ます。よく食べます。よく笑います。ぷくぷくのほっぺたがチャームポイント! パパとママの一生の宝物です。



いとう ふうま  
伊藤 楓馬ちゃん

平成26年9月24日生まれ  
男の子  
健剛・涼さんの子

双子の姉の華音羽です。ママ似です。マイブームは、床にお腹を打ちつけながら、バタフライ前進する事です♡時々妹と重なります。



たけうち かの は  
竹内 華音羽ちゃん

平成26年9月30日生まれ  
女の子  
寿和・英美さんの子

双子の妹の菜音羽です。パパ似です。マイブームは、「うんうん」とうなずく事です♡ご相談は、なのはうんうんまでどうぞ笑



たけうち なのは  
竹内 菜音羽ちゃん

平成26年9月30日生まれ  
女の子  
寿和・英美さんの子

# いきいきわいわいカレンダー

9月	ななかまど大学宿泊研修(～9日まで)
8日(火)	お年寄り送迎日(長寿老人会)
9日(水)	乳幼児健診・ブックスタート
10日(木)	
11日(金)	ツール・ド・北海道 2015 (10:03頃～鷹栖町内通過)
12日(土)	朝市てくてく(9:00～ぬくもりの家えん) たかすおせっかい講演会(13:30～北野地区住民センター)
13日(日)	ツール・ド・北海道 2015 (9:30～鷹栖町役場前スタート) たかすおせっかい例会(13:30～サンホールはびねす)
14日(月)	
15日(火)	第43回長生き感謝祭
16日(水)	
17日(木)	子育て支援センター臨床心理士相談(9:30～12:00)
18日(金)	女性サロンスクール
19日(土)	朝市てくてく(9:00～ぬくもりの家えん)
20日(日)	鷹栖中学校「第33回鷹中祭」
21日(月)	
22日(火)	
23日(水)	
24日(木)	
25日(金)	お年寄り送迎日(北斗老人会)
26日(土)	鷹栖中学校吹奏楽部ラストコンサート(14:30～メロディーホール) 朝市てくてく(9:00～ぬくもりの家えん)
27日(日)	
28日(月)	
29日(火)	お年寄り送迎日(北成老人会)
30日(水)	血糖コントロール教室、ななかまど大学
10月	
1日(木)	春風亭昇太の独演会(19:00～メロディーホール)
2日(金)	
3日(土)	パレットヒルズ植樹祭 朝市てくてく(9:00～ぬくもりの家えん)
4日(日)	アミューズ・クインテットコンサート(14:00～メロディーホール) Hondaテストコース見学会(9:00～)
5日(月)	

◎郷土資料館開館日(毎週水・土曜日/10:00～17:00)

- ▼後援 鷹栖町ライオンクラブ
- ▼主催 鷹栖町献血推進協議会
- 午後3時30分～4時30分
- JAあさひかわ北野支所前
- 鷹栖町役場前
- 午後1時30分～3時
- JAたいせつ鷹栖給油所横
- 午前11時～正午
- 大雪の園前
- 午前9時30分～10時30分
- 場所・時間
- 実施日 10月1日(木)

ご協力をお願いします  
献血のお知らせ

ふるさとまちなび応援基金へ  
(7月1日～31日採納分)

《次代のふるさとを担う子どもたちの活動》  
奥村 純平様 匿名20件

《ふるさとの自然や環境を守る活動》  
風見 秀樹様 匿名13件

《ふるさとを築いた高齢者の福祉活動》  
戸田 泰信様、堀井 和城様  
小林 朋子様 匿名5件

《その他町長が必要と認める事業》  
勝 俊明様、小竹 康之様  
蓮池 勝利様、篠原 康之様  
橋本 健治様、鈴木 拓哉様  
福原 政作様、福田 豊様  
原田 昌紀様、庄子 慶吉様

匿名40件

《複数の事業に対して》  
鈴木 繁利様 彌永 圭介様  
匿名3件

※詳しくは鷹栖町ホームページにて、寄附者の同意をいただいた項目を公表いたします。

## ひとの動き

【8月25日現在】

( )内は前月比

人口	7,217人( -14)
男	3,403人( +1)
女	3,814人( -15)
世帯数	3,101戸( -3)

## 8月中救急出動状況

急病	11件( 9人)
一般負傷	1件( 1人)
交通	0件( 0人)
その他	2件( 2人)
月合計	14件( 12人)
平成27年累計	167件( 158人)

※8/1～8/25 ( )内は搬送人員

## 平成27年の交通事故状況(鷹栖町)

7月未まで	発生件数	人身	5件
		物損	58件
	死者		1人



それいけ!

GoAhead! ATTAKASU!!

あったかすくん!!

8月は熱夏フェスタ(写真)や田んぼアートフェスティバルに登場したよ!

そしていよいよ、暑い夏の熱い戦い、厚い壁(全国のライバル)を打ち砕くべく、「ゆるキャラグランプリ2015」のインターネット投票が8月17日からスタート!!

昨年の1134位から大幅ランクアップで成り上がりを目指す僕を、みんな応援してね!

PC、スマートフォンなどから1日1回投票ができるよ。投票方法は、ゆるキャラグランプリオフィシャルウェブサイトで!

(<http://www.yurugp.jp/>)



▲このQRコードからも投票できるよ!

## 広報に関するご意見をお寄せください

〒071-1292 上川郡鷹栖町南1条3丁目5-1

【電話】0166-87-2111

【FAX】0166-87-2196

◆鷹栖町ホームページからは、メールまたはアンケートでのご意見をお待ちしています。

【HP】<http://town.takasu.hokkaido.jp>

次号は10月5日(月)発行です



たかす吹奏楽フェスティバルで実行委員長としてあいさつをする紺野さん（8月8日）

## 紺野 弘克さん

合唱はまるで人生のよう  
はじめから上手くはいかないけれど  
練習（会話）を重ねて成長（理解）し  
互いに合わさって素晴らしいものができる

今月は、7月18日に開催された「鷹栖町民第九コンサート」を事務局長として成功に導き、メロディーホール企画委員長としても活躍する紺野弘克さんをご紹介します。

2005年に開催した1度目の第九でも事務局長を務めていた紺野さん。当時は町村合併が叫ばれている

時で「鷹栖町もなくなってしまうのでは…」という危機感がありました。何か声を上げたいけど、合唱しか方法を知らない。そこで、第九の合唱で心ひとつにまとまり、鷹栖町民としての誇りを持ちたいと思つたんです」と、熱い思いで周囲に呼びかけ、開催を実現。そして今年、10年ぶり2

度目の第九。前回を経験したメンバーには「あの感動をもう1度」と早くから熱望されていたそうですが、「多くの人の力を借りなくてはいけないので、また迷惑をかけられないという思いがあり、簡単には声は出せませんでした」と紺野さんは話します。それでも、人口減少の危機と言われる時代、当時のメンバーの高齢化もあり、「今、皆さんのお力をもらえるならばできる」と決意。「実力者揃いの仲間の支えがあつてこそその実現でした」と、町民134人の大合唱を振り返ります。

今回のメンバーの半数以上が第九の初心者。「1年かけて頑張つて覚えるので、気持ちもまとまります。その人たちが『参加して良かった』と思えるように、何としても成功させたい」と感じていたそうで、終了後もサークルに入つて合唱を続けてくれるメンバーを見て、喜びが湧いたと紺野さんは話します。



また「音楽が好きなので企画に携われるなんて願つてもないこと」と、紺野さんはメロディーホール企画委員長も務め、8月8日には初めての取り組みとなつた「たかす吹奏楽フェスティバル」を開催。

「吹奏楽を応援しているこんなに大勢の町民の人が、一堂に会して楽しんでくれて嬉しい」と、約400人の聴衆が喜ぶ姿に笑顔を見せていました。「練習の合間だけではないかな」と、各演奏会の終了後には必ず懇親会を開催するなど、仲間との会話の機会を大切にしている紺野さん。「合唱も人生も、仲間やつながりがないと何もできないですよ。合唱がある人生で本当にありがたいと感じています。自分たちの好きでやっている合唱ですが、先日仲間から『廃校になつた学校の校歌を歌おう、合唱団も社会に貢献を』との声が上がリ、これを機に合唱を通じて何か地域のために出来ることも考えていけたら」と今後への思いも話してくれました。

こんの ひろかつさん

（北1条2丁目）

中学時代の修学旅行で歌を披露したところ、担任から「上手だね」と褒められたのが、歌うことに興味を持ったきっかけ。

転勤で鷹栖町に来たときは「待つていても仕方がない」と、自ら声を上げて混声合唱団をスタートさせた行動派。

広報たかす

9

NO.768  
平成27年  
9月号

創刊／1949年（昭和24年）11月20日

発行日／2015年（平成27年）9月7日

発行者／鷹栖町 編集／総務企画課

北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号